

Rotary International 2025-2026 会長 フランчесコ・アレツツォ	丸亀東ロータリークラブ
国際ロータリー第2670地区 ガバナー 織田 英正 (高知南RC) 「地域密着のロータリーを目指そう」	
会長 塩野 拓二 幹事 黒木 五朗	

2026年2月17日(火)

2025-2026年度 第51年度 第31回 通算第2408回例会

【会長報告】

- ◆ 4月7日(火)台北東南RCの方が来日予定です。
当クラブ訪問の案内文と参加者予定表を配布しております。

【幹事報告】

- ◆ 次週(2/24)の例会は【R I 創立記念夜間例会・カフェ ブブカーネ】に例会変更しております。
夜間例会に出席される方は午後7時までにカフェ ブブカーネにお集まりをお願いします。受付にて会費4,000円を徴収させていただきます。

【プログラム】

<目的>

次年度クラブ運営の準備と意識向上を図るための研修

<開催背景>

RI細則に基づき、地区内クラブ会長エレクトを指導研修する場として開催



ロータリークラブは「職業を通じて社会に貢献する」ことを目的とし、クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕の5つの奉仕活動を柱に活動をしています。

★PELS (会長エレクト・ラーニングセミナー) 報告

本年度からPELS (会長エレクト・ラーニングセミナー) ・DTLS (地区チーム・ラーニングセミナー) とセミナーの名称が変更されました。

当地区のセミナーにおいてもラーニングの手法を導入し積極的な参加とより成果の出る仕組みにて開催する事になりました。

73クラブの会長エレクトの皆様に7つのグループに分かれて頂き、ガバナー補佐の皆さんをファシリテーターとしてテーマに基づき意見交換し実施していただきます。

CLLSや活性化セミナー、地区大会等この一年間、県・分区を超えた同じグループで



中 哲生 次期会長

クラブ間の交換を促進し、お互いのクラブの長所を学び、自クラブに活用できるアイデアを得られるようにしていただきたいと思います。

さらにそのグループでメイクアップ等の交換が深まればと願っています。

ラーニングの目的

- ・多様な意見、考え方とグループで共有することにより、当クラブで活用できるアイデアや新たなヒントを得ることを目指します。

ファシリテーターの役割

- ・ファシリテーターはテーマについて必ずしも専門家ではない場合もあります。
グループ内の多くの意見を引き出し、進行させることが役割です。
正解を提示したり、ファシリテーター個人の見解を主張することも原則致しません。

参加メンバーの心得

- ・積極的な発言をお願いします。多くの方が発言できるよう簡潔に意見をまとめて下さい。他の方の意見を否定することなく、多様な意見、考え方としてご理解下さい。

<グループ分け>

菅原順三ファシリテーター	
三浦聖人ガバナー補佐	
(RC名)	(会員数)
阿南南	44名
阿波徳島	15名
鳴門	46名
高松東	46名
丸亀東	44名
善通寺	39名
香長	10名
高知中央	46名
今治北	19名
松山	70名
大洲	30名

会長エレクト研修セミナーと地区研修・協議会の名称改正；

研修の文化から参加者中心のラーニングへと移行するため会長エレクト研修セミナーを会長エレクト・ラーニングセミナーに、地区研修・協議会をクラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナーに変更する。

- ・会長エレクト研修セミナー (PETS) → **会長エレクト・ラーニングセミナー (PELS)**
- ・地区チーム研修セミナー (DTTS) → **地区チーム・ラーニングセミナー (DTLS)**
- ・地区研修・協議会 → **クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー (CLLS)**
(名称を実際に変更するか否かについては、各地区の裁量に委ねられている。)

★DTLS (地区チーム・ラーニングセミナー) 報告

<米山記念奨学会委員会>

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会について

* 米山梅吉氏 (日本のロータリーの父)

- ・ポール・ハリス氏と同じ1868年に誕生
- ・ダラスRC会員の福島喜三次氏と米国で出会い
1920年日本で最初のロータリークラブ東京RCを創立
- ・日本初の信託会社、三井信託(株)を設立

米山記念奨学事業の概要

- ・日本のロータリー**独自**の事業 (RIが定める多地区合同活動の手続を完了)
- ・日本で学ぶ**外国人留学生**を支援 (公益財団法人を設立し運営)
- ・**世話クラブ・カウンセラー制度**で交流を重視“人を育てる事業”



岡 千枝 次期地区米山委員

奨学事業の使命

将来、日本と世界を結ぶ「架け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成すること

成功の鍵は**カウンセラー**

◎カウンセラーの役割〔国際奉仕の最前線＝「パイプ役」〕

- ・国際交流と人材育成
- ・良い人材を育成することにより、日本中のロータリー会員が寄付に託した想いを叶える
- ・奨学生にロータリーの精神を伝える
- ・会員に外国人留学生支援の意義を伝える

「パイプ役」とは？

- ・世話クラブ会員や事務局の方とも交流を
⇒ 奨学生はどんな人？どんな勉強をしているの？
- ・学校だけでは経験できない体験を
⇒ 様々な職種の会員、日本文化、地域の産業・文化
- ・卓話原稿の作成時にアドバイスを
- ・指導教員を例会に招く／卓話を依頼する

同期・先輩カウンセラーとの情報共有を

◎米山奨学生の義務

- ・毎月1回以上指定された世話クラブ例会への出席
- ・奨学生レポートの提出（9月・2月）
- ・世話クラブや地区行事への参加、卓話の実施
- ・その他「確約書」記載の確約事項の遵守

◎寄付金の種類

普通 寄付金	特別寄付金
<ul style="list-style-type: none"> ・財団法人設立時の約束 ・奨学会の安定財源 ・クラブで決定した金額×会員数 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人・法人・クラブからの任意寄付 ・1円～OK！ ・表彰対象



米山奨学会への寄付は
寄付金控除の対象です

【本日のニコニコ】

- ☉ P E L S 報告を無事終えて : 中 哲生 次期会長
- ☉ D T L S 報告を無事終えて : 岡 千枝 次期地区委員
- ☉ P E L S 報告、D T L S 報告をお聞きして
中 次期会長、岡 次期地区委員。ありがとうございました。 : 塩野 拓二 会長
- ☉ P E L S 報告、D T L S 報告をお聞きして
中 次期会長、岡 次期地区委員。ありがとうございました。 : 黒木 五朗 幹事
- ☉ ロータリーバッチを購入して : 高橋 将三 様
- ☉ お先に失礼して : 田中 誠 S A A

【来訪ロータリアン】 (なし)

【メイクアップ】 (なし)

【出席報告】

第2408回例会

<2月17日(火)例会分>

会員総数	出席免除会員数	出席計算会員数	出席会員数	欠席会員数	出席率
44名	1名	43名	27名	16名	62.79%

第2406回例会

<2月3日(火)例会分>

会員総数	出席免除会員数	出席計算会員数	出席会員数	欠席会員数	出席率
44名	1名	43名	24名	19名	55.81%

【2月24日(火)の例会】**R I 創立記念夜間例会** (会長・幹事・親睦活動委員会)**【カフェブブカーネ 午後7時~】****【3月 3日(火)の例会】****会員卓話 (ロータリー財団委員会) 伊賀重夫委員長****四つのテスト** ~言行はこれに照らしてから~

- | | |
|------------|------------------|
| 1. 真実かどうか | 3. 好意と友情を深めるか |
| 2. みんなに公平か | 4. みんなのためになるかどうか |

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。
具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1. 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2. 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3. ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を實踐すること。
- 第4. 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

MARUGAME EAST ROTARY CLUB

事務所 オークラホテル丸亀430号室

例会場 オークラホテル丸亀 ☎23-2222
〒763-0011 丸亀市富士見町3丁目3番50号
TEL(0877)21-6611 ; FAX(0877)21-6655
E-mail ; merc@soleil.ocn.ne.jp
<http://www.marugame-east-rc.com>

例会日 毎週火曜日 PM12:30~PM1:30

ロータリークラブの標語は、ロータリーの理念を象徴する重要なメッセージです。

以下は、ロータリークラブの標語の詳細です：

- ・ **超我の奉仕**: Service Above Self
- ・ **最もよく奉仕する者、最も多く報いられる**: One Profits Most Who Serves Best

これらの標語は、ロータリーの第1標語と第2標語として公式に承認されており、ロータリーの基本的な価値観を反映しています。

ロータリークラブは、これらの標語を基に職業を通じて社会奉仕を行うことを目指しています。